

■ 第3回常陸多賀駅周辺地区整備計画策定委員会 議事要旨

1 日 時 令和元年12月24日(火) 午前10時から正午まで

2 場 所 日立市女性センター 4階多目的ホール

3 出席委員 30名(31名中)

4 会 議

(1) 開会(午前10時00分)

(2) 委員長あいさつ

前回委員会やコミュニティ・商店会との意見交換会において、たくさんの意見をいただいた。

本日は、改めてこの計画のイメージを皆さんに議論していただくが、まず初めに前回までの意見を整理し、基本的なところを事務局から説明させていただきながら、進めていきたい。

よろしく願いしたい。

(3) 議事

議題1：第2回委員会のまとめについて

事務局から資料1に基づき、第2回委員会の概要や主な意見等について説明する。

(質疑無し)

議題2：意見交換会の開催結果について

事務局から資料1及び資料2に基づき、意見交換会の開催結果について説明する。

〈質疑応答〉

副 委 員 長 参加者の年齢構成、代表して参加された方は町内会などの意見を事前に吸い上げて意見交換会で話をしているのか。

事 務 局 コミュニティとの意見交換会については、各コミュニティの役員など、年配の方中心に出席されている。

事前に意見を集約していただいたという形ではなく、その場で資料を配布・説明し、意見交換をさせていただいた。

議題3：整備計画について

【まちづくり方針における主な推進事項】

事務局から資料1及び資料3に基づき、まちづくり方針における主な推進事項について説明する。

〈質疑応答〉

委員 まちづくりの方針の中で、電柱の地中化はできないのか。

委員長 ハード面の計画については、この後事務局から説明があるため、その際に確認し、ご意見をいただければと思う。

委員 まちづくりの方針について色々説明を受けたが、常陸多賀地区の目指す街のイメージがつかみづらい。常陸多賀の売りは何なのか、何で勝負するのかといったことがあった方がよい。

事務局 目標にあるように、暮らしと賑わいをきちんと駅の周辺で完結させて、それを持続させていくまちづくりが基本だと考えている。プラスアルファの「売り」になるような点については、引き続き皆様からご意見をいただきながら整理していきたい。

委員長 例えば大甕駅周辺、日立駅周辺のイメージとどのように差別化していくか、これは非常に大事な点だと考えるので、是非皆さんからもお知恵を拝借したい。

委員 日立駅や大甕駅はきれいな駅になってしまった。以前の委員会でも述べたが、常陸多賀駅は、昭和のイメージを残して、温かみのある懐かしい感じの駅にしてほしい、その思いは変わっていない。

設備は近代的に、出来るだけ誰もが使いやすいようにしてほしいが、見た目は昭和チックな、木や竹、土、レンガなど自然の素材を活用しながら、残すべきまちのイメージを残してほしい。

例えば、「志お屋」さんのある旧国道沿いの街並みなどは、まさにそういったイメージであり魅力を感じている。お住まいの方の意見がまとまるのであれば、今後も景観に統一感を持たせていくなど、街並みの保全が図れると良いと考える。

また、その通り沿いを時間帯の交通規制などを活用しながら開放して、そういった雰囲気を楽しむ人が楽しめるような仕掛けづくりを進めていくということも良いと考える。

委員 整備計画として、様々な空間の利用について説明をしていただいたが、常陸多賀駅周辺には多くの空き地がある。現在ある空間を利活用するのか、新たに空間を創出するのか、根本的な考えを教えてください。

- 事務局 今ある空き地や空き店舗の活用をイメージしている。
- 最近、例えば敷地の利用権の交換という事例が出てきているが、利用されていない空間を皆で円滑に活用できるような仕組みが出来れば良いと考えている。そのために組織をつくりながら、まち全体で低未利用地や路地裏空間などの活用ができると良いと考えている。
- 委員 国では最近、「ウォークブル＝歩きたくなるような街なか」に係る施策を提唱し始めており、今まで自動車中心だった街をヒト中心の、歩けるような街にしていくという施策の方向性を打ち出している。
- また、これまで道路などの都市施設を整備してきたが、さらに施設空間を使いこなす余地があるということが反省点としてあり、その空間活用に力を入れていこうという考え方も生まれてきている。
- 低未利用地や空き家、道路・公園空間など、街なかのストックを使いこなしながら、エリアマネジメントを推進していく施策が求められている状況がある。
- 委員長 空き地や空き店舗の活用については、公共が全面的にやることは難しいので、民間活力をいかに活用していくか、ということがポイントになるものとする。
- また、そのような課題を段階的に解決していくためには、やはりお住いの方々がそこをどのように活用したいのか、それによって地域が活性化するなど、方向をきちんと示すことが出来れば、不動産所有者などにも、御協力をいただきやすいのかなど考える。
- 市の方でも、空き地・空き店舗活用を推進するための施策を良く検討してほしい。
- 委員 この地域には昔からたくさんの地権者がいる。先ほど空き地の活用の話があったが、その空き地所有者の方たちの理解を早急に得て、計画を進めていかないと、対応できなくなるのではないかと。先ほど、旧国道沿いの街並みについてご意見があったが、昔から住んでいる住民が多いエリアであり、その人たちが昔、貸家などを営んでいた場所が、現在、空き家や駐車場に変わっているという現状もある。
- また、今後は土地所有者の相続も発生してくる。この計画を実現していくためには、土地所有者にも参画してもらって、商店会、コミュニティなどと連携しながら速やかに事業を進めていく必要がある。
- 副委員長 多賀地区は、国分工場・多賀工場が最盛期の頃は、駅前商店街にもたくさんのお店があり賑わっていた。また、日立市と合併する前は、都市計画が進んだ町だった。常陸多賀駅前というのは、日立駅前以上に人が集まって、活気のある駅だった。街が生

まれ変わる時に、長らく頑張ってきた商店街の人が有効な開発だと思ってもらえるよう、地元の商店街を含めて地権者等の意見を十分取り入れて、そういった方々が再開発や都市計画を断行して良かったとなるような、結果を出すような対応をしていただきたい。

【整備計画について】

事務局から資料1に基づき、整備計画について説明する。

〈質疑応答〉

委員 再開発に関しては、パース図では市有地部分だけ高度利用がなされている。予算も期間もかかるが、もっと広いエリアで事業を行うことも可能と考えるので、皆さんの意見を取り入れながら、施行区域を精査して行ってほしい。

委員 イメージ案が3つ出てきたが、多賀の街がどんな街になっていくのかが全く見えない。公共公益施設を建てたことによって、この街を愛してくれる人が増えるとは思えない。この案がこの街を好きになってくれる人を増やすための、最初に打つ案だとは思えない。

委員 日立市は、平成3年頃、住みよい街、魅力度ランキングで20位ぐらいに入ったことがある。気候が良くて、災害がなく、自然がある。76年駅前に住んでいるが、現在でも住みやすい街だと思っている。ただ残念ながら、よかっぺ通りのお店が少なくなっている。商店街も頑張っているが、現状は厳しい。また、よかっぺ通りの駐車帯には、1日中停めているマナーの悪い人もいる。今日は警察署の方も来ているので、改善してもらいたい。

副委員長 日立駅を改修する際に、駅舎の上には出来るだけ商業施設を作らないでいただきたいと要望してきた。常陸多賀駅の改修計画においても、商業施設を広くとることがないように、地元の商業関係のためにも、是非お願いしたい。

委員長 この案ではイメージアップには繋がらないという意見があったが、ではどの程度でこういったことをやっていけば良いか意見はあるか。

委員 西口の商業ビルから既存施設、既存商店への波及がどうされるのかが、見えてこない。イメージアップのために、例えば西口は全てオープンスペースにして、事例紹介にあったコンテナの新規店舗を置くなども良いだろうし、既存の店舗が出品できるようなスペースや街とのハブになるオープンスペースとして活用することも考えられる。東口に関しては、現状利用者がほとんどいない中で、東側にも拠点を作ると完全

に分散してしまう。分散を起こしてまで東側に新たな拠点を整備する必要があるのか疑問がある。

副 委 員 長 駅の上に商業施設を作られたら、地元の商店街は立ち行かなくなる。基本的には、商業施設は作らない方向で考えてほしい。また、朝夕の送迎車両が非常に多く、西口駅前広場内のスペースでは少なすぎる。スペースについて市の方では是非考えていただきたい。

委 員 昭和の時代、商店会のメンバーは280軒ほどあったが、今は84軒、3分の1に減ってしまった。5年先、10年先に常陸多賀駅が出来るという時に、商店街で生鮮3品を扱っている店はきつくないだろう。先ほど、駅に商業施設ができると商店街は困るだろう、という話があったが、その頃には商店街は既にある可能性もある。駅ビルに必要最低限の商業施設があった方が、人々に留まってもらえる。留まってもらえれば、町の中にも降りてもらえるのではないかと。また、送迎車両の混雑の話があったが、迎えに来た人たちが30分、1時間と留まっていただき、ちょっとした飲食店があったり、若い人が言っていたスポーツ施設が駅前にあれば良い。大きな施設は必要ないが、ちょっと留まっていただき、そういった施設を作っていただければありがたい。

委 員 色々な計画の話をしているが、現実的ではない。空き店舗、空き地の問題は皆さんが思っている以上に速度が速く進んでいる。10年後商店街があるかどうかかわからないが、そういう中でこの計画を進めていく意味では、もっと次の世代の人たちが住みたくなるような、離れてもまた帰ってくるような、そういう街をこの委員会の中で描けたら良いと考える。

委 員 長 商店会の現状についての意見であった。是非スピード感を持ちながら、計画を進めてほしい。

副 委 員 長 これからこの整備計画をどう活用するか、集めた意見をどう活用するのかを踏まえて、整備をしなければいけないし、そういったものが見えにくい。また、しっかり情報発信を行いながら、市民や地権者との情報共有を図っていく必要がある。駅が良くなっただけでは、その街に住みたいと思う若者は誰もいない。小さくても、生き生きしていて、若い人が未熟ながらもまちづくりに参加できる。そういうソフトの部分が重要になってくると考える。今後も引き続き、ソフトについても検討を進めるとのことであるので、特に西口の高度利用については、検討できる余地をなるべく残してほしい。

小 柳 委 員 長 学生を含めて、授業の一環としてやっておられるということなので、そういったことをこの場でも是非お披露目してほしい。また日立市にもそういった情報を持って行って、皆さんにお披露目することができればより良いと思う。

委 員 常陸多賀は歴史的にも文武両道の街で、子育てしやすい街だった。子育て世代が移り住んでくれるということを目指しにまちづくりが出来たら良いと考える。

委 員 よかっぺ通りの駐車帯の規制について、分かり辛さと周知の問題がある。地元や商店街の方々のご意見として取りまとめていただき、警察署に再度要望をいただければ、検討していきたい。

委 員 長 まだご意見があると思うが、予定の時間を過ぎたので、こちらで用意した議案は終了したい。ご協力ありがとうございました。

(8) 閉会 (正午)

以 上